



敦賀港にてみなとふれあい教室を開催！

平成25年7月16日、敦賀港のフェリーターミナル及び親水護岸フェリオスにおいて、敦賀港に近い敦賀西小学校の5年生49名が、港の役割や「海・港」への親しみ・興味・関心を高めてもらうことを目的に「みなとふれあい教室」と題し、フェリー見学、講話及び稚魚放流を体験しました。

児童は、昨年6月に就航したフェリー「すずらん」に乗船し、客室や普段は入れない操舵室等を見学し、その豪華さや大きさに感動した様子でした。

次にフェリーターミナル内にて、新日本海フェリーの早坂副長、敦賀市漁協の濱上組合長、そして当事務所の松本所長が講話を行いました。松本所長からは「港が生活にとって重要な役割を果たしている」などの説明を行い、港の大切さを認識してもらいました。

その後、鯛の稚魚1,400匹を児童が網とバケツを使用し、元気が良くてなかなか捕らえない稚魚に苦戦しながらも、楽しそうに放流しました。



フェリー操舵室にて機器等の説明



ターミナル内にて松本所長の講話



鯛の稚魚を苦戦して捕まえている様子



鯛の稚魚を放流している様子